



中秋節

日本では「お月見」がありますが、ベトナムにも「中秋節」という伝統的な行事があります。ベトナム語では「テット・チュン・トゥー」といい、毎年陰暦の8月15日に行われます。

中秋節は、子どもたちが一年の中で最も楽しみにしている行事のひとつで、「子どものお正月」とも呼ばれています。この日は、家族が集まり、子どもの成長を祝う大切な日です。

この時期に欠かさず食べるものが「月餅(Bánh Trung Thu、バイン・チュン・トゥー)」です。現在の月餅にはいろいろな種類がありますが、大きく分けると「焼き月餅(Bánh nướng、バインヌオン)」(黄色)と「もち米の月餅(Bánh dẻo、バインゼオ)」(白色)があります。



▲ベトナムの月餅



こちらのQRコードから動画ご覧いただけます



「トルン」ĐÀN T'RUNG

ベトナムの民族楽器

トルンは、ベトナム中部高原の少数民族（ジャライ族、バナ族など）に伝わる楽器です。長さや太さの異なる空洞の竹筒（直径3〜4cm、長さ40〜70cm）を長さ順に並べ、丈夫な紐でつなげて作られます。

演奏は、木や動物の角で作った棒でたたき音を出します。長く太い竹は低音、短く細い竹は高音を出し、音色は小川や風のような自然な響きです。

～ 伝統と信仰 ～

昔は男性だけが畑で演奏していました。竹の中には「作物を守る神」がいると信じられ、その音で鳥や獣を追い払い、作物を守る意味もありました。

～ 現代 ～

今では女性演奏者も活躍しています。コンサートや観光公演、音楽教育など、さまざまな場面で使われています。



こちらのQRコードから動画ご覧いただけます



竹の とんぼ

Chuồn chuồn tre

竹のとんぼは、ベトナム語で「チュオン・チュオン・チュエ」と呼ばれ、ベトナムの子どもたちに親しまれてきた伝統的なおもちゃです。有名な生産地であるタック・サ村（Thạch Xá）の職人によって、一つひとつ丁寧に手作りされています。村はハノイの郊外にあり、車で約45分ほどの距離にあります。

日本の「やじろべえ」のように、竹のとんぼは見事なバランスで立ちます。左右に同じ大きさの羽がついており、頭のほうが少しだけ重く、重心が指の上にくるように作られているので、指先にちゃんと乗せて揺らしても倒れません。どうやってこの絶妙なバランスを生み出せるのか——まさに職人技ですね。



「アオザイ」ÁO DÀI

ベトナムの民族衣装



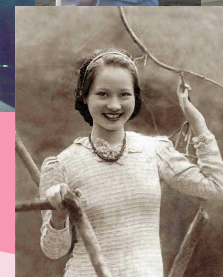
アオザイは、長い歴史を持つベトナムの伝統衣装です。「アオ」は「服」、「ザイ」は「長い」を意味し、名前のとおり「長い服」という意味になります。

アオザイの原型は「アオ・トゥ・タン(Áo tứ thân)」と呼ばれる衣装(図1)です。アオ・トゥ・タンは4枚の布を合わせて作られたゆったりとした服で、昔は男女ともに腰ひもを結んで着ていました。フランス植民地時代には、西洋文化の影響を受け、体のラインを強調した細身のデザイン(図2)へと進化しました。襟や袖の形も洋服のスタイルに近づき、より女性らしさが表現されました。その後、再び伝統的なデザインの要素が取り入れられ、現代のアオザイが完成しました。体にフィットしながらも動きやすく、優雅さと実用性を兼ね備えています。

男性用のアオザイもありますが、結婚式やお祝い、伝統音楽の演奏など、特別な場面で着用されることが多いです。



▲図1



▲図2



アオザイの特徴

◆上衣◆

- ・基本は長袖
- ・スリムフィット
- ・着丈が足首まで長い
- ・両わきに深いスリットがあり、動きやすく風通しもよい

◆下衣◆

- ・基本は長ストレートズボン
- ・スリムフィット
- ・上衣に合わせてさまざまな色が使われる

どちらも軽くて涼しい素材で作られ、暑い気候でも快適に着られます。

ブース内で体験できるよ！

Ô ĂN QUAN

ベトナムの石遊び

オー・アン・クアンは、ベトナムで昔から親しまれている伝統的なボードゲームです。昔は、地面に線を描き、近くで拾った石を使って遊んでいました。現在では、木製のゲーム盤や石のセットが販売されており、家庭でも手軽に楽しむことができます。

昔のベトナム社会には、「官（かん）＝お役人」と「民（みん）＝庶民」という身分の区分がありました。その名残で、ゲームの中で大きな石を「官」、小さな石を「民」と呼びます。プレイヤーは順番に石を動かし、すべての石が取られるとゲーム終了。より多くの石を集めた人が勝ちです。ルールは簡単で、初めての人でもすぐに遊べます。しかし、相手の動きを読んだり先を考えたりする力が求められるため、「頭のトレーニング」としても楽しまれています。

